

有縁の皆さんでお読み下さい

阿弥陀様と皆様のお陰により、30年間寺報を発行し続けることができました。

あなたの「生きる」を支えるお寺

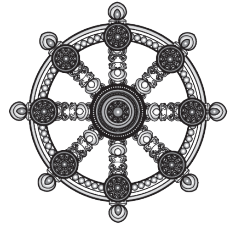
毎月 25 日発行 しょう しき しょう こう

お寺のかわら版

じゅんしょうじほう

純正寺報

青色青光 No.360



発行責任者：浄土真宗本願寺派 護法山 純正寺 住職 釋 覚恵 (漢見覚恵)

〒 522-0075 滋賀県彦根市佐和町 3-29 TEL (0749)-22-7888 FAX (0749)-47-4829

メールアドレス :purity.temple.since1499@gmail.com

※この紋章は「法輪」といい、車の輪が回り続けるように未来に向かって永遠に弘められていく仏教を象徴した、世界中の仏教徒共通のシンボルです。

親鸞聖人降誕会

五月十六日(土)

午前十時から正午まで

午後一時半から三時半まで

●お勤め(午前・午後共)

『正信念仏偈和讃(行譜)』

●ご法話

長浜市余呉町明二寺ご住職

筑田 昭浩 師

皆さんで、

親鸞様のお誕生を

お祝いし、

お念仏にであえた

よろこびを共に

いたしましょう。



お寺の枠を超えた法友とのであい **こんき常例布教**

5月25日(月) 法話 純正寺住職

午前 10 時、午後 1 時半 「歎異抄に学ぶ」

住職法話 我聞如星

われかくのごとくきく

わがこころのよくて

ころさぬにはあらず⑥

たぐるべき業縁

昨年日本の刑法の改正は、ノルウェーの修復的司法を参考にしたものであると思われませんが、仮に刑務所がノルウェーのように改革できたとしても、日本人の罪と犯罪者に対する意識が変革されなければ、ノルウェーのような効果は期待できないでしょう。

では、私たち日本人が罪と犯罪者に対する意識を改革するには何が必要なのでしょう。ここに有効だと思われるのが、実は浄土真宗の教えなのです。

親鸞聖人の直門弟のお一人、唯円様が書かれたとき

ある『歎異抄』第十三条には、親鸞聖人と唯円様とのこのような会話が収められています。

聖人

「唯円房は私のいうことを信じるか」

唯円「はい、信じます」

聖人

「それでは、私のいうことに背かないか」

唯円

「つつしんでお受けいたします」

聖人

「では、人を千人殺してくれないか。そうすればそなたの往生は確かなものになるだろう」

唯円

「聖人の仰せではありませんが、私のようなものには一人として殺すことなどできるとは思えません」

聖人

「それでは、どうしてこの親鸞のいうことに背かないなどといったのか」

聖人

「これでわかるであろう。どんなことでも自分の思い通りになるのなら、浄土に往生するために千人の人を殺せと私に言われれば、殺すことができるはずだ。けれど、

ども、思い通りに殺すことのできる縁がないから、一人も殺さないだけなのである。自分の心が善いから殺さないわけではない。また、殺すつもりがなくても、百人あるいは千人の人を殺すこともあるだろう」

聖人

「人はだれでも、しかるべき縁がはたらけば、どのような行いもするのである」

煩惱具足の私

人千人を殺せば往生が決定すると言われても、千どころか一人の人でさえ殺すことなどできないと答える唯円様に対して、聖人は私に良い心があるから人を殺さないのではなく、ただ、

私には今のところ人を殺すだけの縁が整っていないだけのことであり、この身の上に縁さえ整えば一人どころか百人でも千人でも殺してしまうような愚かな人間が私であるとおっしゃったのでした。

阿弥陀如来の智慧光に照らされた私の姿は、縁さえ整えばどのような行動もしてしまう「煩惱具足の凡夫」でありました。そして、罪とは人が個人で犯すというよりも、人や出来事など様々な繋がりの中で「至る」ものであったのです。もし、今私が罪を犯していないならば、それは今たまたまこの身の上に罪に至るだけの条件が整っていないだけの

ことなのです。それどころか、もしかしたら罪を犯しているのに、ただ気づいていないだけなのかもしれない。

愚かな煩惱具足の凡夫という浄土真宗の立ち位置にある時、たまたま現在罪に至っていない私は、たまたま罪に至った他者をうかつに誹謗中傷することはできません。もちろん、罪に至ってしまった者は、その罪を償わねばなりません。しかし、それ以上に再犯しない社会人に再生することが大切です。そして、そのために必要不可欠な、あたたかいコミュニケーションと相互信頼関係を、浄土真宗という教えは、そして私たち浄土

真宗に生きる者は実現しうるのです。

最高の兵器は

座って聴き合うこと

ノルウェーの首都オスロでは、毎年ノーベル平和賞の授賞式が行われます。受賞式の会場であるオスロ市役所の前にあるのが「ノーベル平和センター」です。この建物の正面には、大きなベンチ型オブジェがあり、オブジェ前の敷石には南アフリカ共和国の元大統領であるネルソン・マンデラ氏の言葉「The best weapon is to sit down and talk.」が刻まれています。

この言葉は、私たち仏教者・真宗者に、犯罪をはじめとす「平和とは呼べな

い状態」に対する営みが、正義や秩序ではなく、話し合いや聴き合いによる心的安寧の営みであることに気づかせてくれます。

現在、私の住む滋賀県では、再犯防止に向けて、県をあげた地域支援ネットワークの構築が進められています。そして、今年から滋賀県教誨師会もこのネットワークに参画することになりました。私たちのノルウェーでの学びが、再犯防止に向けてお役に立てればと強く思います。そして、私はこれからも浄土真宗に生きる念仏者として、犯罪のない平和な社会の実現に力を尽くそうと思えます。

おわり



5月の皆の宗サンガ

サンガ(僧伽)とは、利害関係を越えた、互いに支え合う、安心できる本当の人のつながり「お念仏の家族」をあらわしています。純正寺のすべての活動は、あなたにも仏縁が整って、まことの同朋(とも)の出会いが広がっていくことを願い、運営されています。



キッズサンガ「ほとけの子ども会」

9日(土)・23日(土)
10:00~12:00
就学前・小・中学生対象

『らいはいのうた』のお勤めをして、仏典童話を聞きながら仏教の感性を学びます。

ゆっくり学ぼう家「寺子屋」

3日(日)・24日(日)
16:00~18:00
小学生・中学生対象

教科書に沿った問題集や宿題、自主勉や読書に取り組みます。おやつタイムもあります。

みんなの食堂ビハーラ

13日(水)・27日(水)
17:00~19:00
年齢・性別は問いません

子どもからお年寄りまで、誰でも参加できる楽しい食事と学習の時間。事前にお申し込みください。

世のなか安穏なれ「ビハーラ彦根」

24日(日)
18:00~20:00
年齢・性別は問いません

参拝者の提起や質問を手がかりに、車座になって聴き合いながら、ビハーラの心を学びます。

「月例法話座談会」

21日(木)
14:00~16:00
年齢・性別は問いません

日常の「何故?」を通して、お念仏に生きる尊さと確かさを座談会形式で感じ学びます。

みんな法友こんき常例布教

25日(月) 10:00~15:00
年齢性別は問いません

所属寺の枠を超えた気楽なご法座に、お聴聞の朋友の輪が広がります。今月のご法話は、純正寺住職の「歎異抄に学ぶ」です。

親鸞聖人ご降誕の縁「降誕会」

16日(土)
10:00~12:00.13:30~15:30
年齢性別などは問いせん

親鸞聖人のご生誕記念のご法縁。ご法話は、長浜市明三寺の筑田昭浩師です。

清々しい朝のおつとめ「常朝事」

年中毎朝 6:00~6:50
年齢・性別など問いません

『正信念仏偈』と『和讃』の繰り読み。『御文章』の拝読と住職の法話があります。Facebookでライブ配信もしています。

住職が聴きます「よろず相談」

随時、年齢性別は問いません
仏事の事や生活の事など、なんでも気軽にご相談下さい。
相談予約専用電話番号は、090-7874-2849
相談予約専用メールアドレスはnamo-yorozu@docomo.ne.jp

純正寺の法要は「YouTube」で、常朝事は「facebooklive」で、それぞれ生配信でも録画でもご参拝・お聴聞していただけます。下記のQR(二次元)コードを、スマホのQRコードリーダーで読み込んでください。



YouTube 純正寺チャンネル



LINE 純正寺公式アカウント



純正寺公式ホームページ



facebook 常朝事チャンネル

感謝とお礼

今月号で、青色青光の発行が満30年を迎えました。ひとえに、仏縁ある皆様方が共に歩んで下さったお陰だによろこんでおります。今後も、体力と気力が続く限り、発行し続けていこうと思っています。 称名

散る桜、残る桜も散る桜。桜の花も我が命も、明日もあるという証はあります。今月は、二、八〇〇個のペットボトルキャップをお預かりいたしました。